

テーマ：『 学校林活動を通して自然への理解を深める環境教育 』

真岡市立 真岡西中学校

Tel. 0285-84-6223

担 当 小堀 浩之
者：



■ 実践内容：

真岡西中学校では、学校林活動を通して自然への理解を深める環境教育を実践してきた。月に1回生徒で行う「全校緑化の日」に、学校林の枯れ枝や雑木の伐採、下草刈り、椎茸栽培等の環境整備や体験活動を通して、自然愛護や環境保護の態度を育成してきた。また、授業においては、1年生では「植物の分類」の単元で、種子を作らないシダ植物やコケ植物を観察した。1年生の「光合成のはたらき」では、学校林の木々の切れ間から差し込む光の強さによって、地表の植物の生育状況が異なることを観察を通して学んだ。さらに3年生の「土の中の小動物」の観察では、ペットボトルを利用したトラップを製作・設置して、地表を歩き回る小動物を捕獲し、肉眼や双眼実体顕微鏡で観察することができた。

■ 実践成果：

学校林の下草刈りや椎茸栽培等、森の豊かさを実感する活動を通して、自然を保全することの大切さや自然の恵みを体感することができた。特に教科(理科)の学習で野外等での観察活動を行うことは、机上では味わえない、自然の事物に直接ふれることによって生じる発見や気づき、驚き、感動等により、自然への理解を深めることができた。また、継続して観察を続けることにより、学校林の樹木や植物を底辺とする多様な生態系があることを実感することができた。

■ 実践ポイント：

多様な体験活動を通して、学校林の自然にできる限りふれさせ、実際に見たり、さわったりする直接体験させることによって自然への理解が深まるように支援した。